

議員提出議案第14号

水痘、おたふくかぜ等の流行性疾患の予防に関する意見書

上記の議案を提出する。

平成22年 3 月 29 日

提出者

7 番	小 山 たつや	1 7 番	秋 家 聡 明
1 9 番	佐藤 ゆうだい	2 1 番	大 高 た く
2 4 番	池田 ひさよし	2 5 番	米 山 真 吾
2 7 番	小 用 進	3 1 番	三小田 准 一
3 2 番	中 村 しんご	3 3 番	荒 井 彰 一
3 4 番	牛 山 正	3 5 番	く ぼ 洋 子
3 6 番	倉 沢 よう次		

葛飾区議会議長 舟 坂 ちかお 殿

水痘、おたふくかぜ等の流行性疾患の予防に関する意見書

幼児期にワクチン接種により流行性疾患を予防することは極めて重要であり、世界保健機関もそのためのワクチンの定期予防接種を推奨している。

しかし、これら流行性疾患を予防するためには、一定の時期に予防接種が必要であり、その費用は、子育て世代にとって決して軽微なものではない。

そのためこの間、水痘、おたふくかぜ等に対する予防接種の助成を実施する自治体が増加しつつあり、葛飾区においても平成22年度より独自に実施する予定である。

予防医学の観点に立っても、これら流行性疾患を発症して治療するよりも、医療費の抑制、経済波及効果からも実施が望まれる。

子育て世代にとって、これらの流行性疾患に罹患したときの就労の困難の解消にもつながる。

よって、本区議会は政府に対し、水痘、おたふくかぜ等の流行性疾患の予防推進をする立場から以下の点について強く求めるものである。

記

- 1 水痘、おたふくかぜ等の流行性疾患の予防ワクチンの有効性、安全性を評価したうえ

で予防接種法を改正し、一類疾病の定期予防接種疾患に位置付けて、無料化していくこと

2 ワクチンの安定供給のために手立てを講じること

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。